

2019年12月20日

三彩化工株式会社

〒531-0076 大阪市北区大淀中3丁目5番30号

TEL06(6451)7851(代) FAX06(6451)1187

技術開発部

ネオリバー泥パック橋梁用 Type II の鉛丹塗膜剥離について

拝啓 貴社益々ご隆盛の段、お慶び申し上げます。

表題の件に関しまして、下記の通りご報告させていただきますので、ご高覧の程お願い申し上げます。

敬具

記

鉛丹錆止めペイント(JIS K 5622:廃止)は、鉛丹等の溶剤不溶成分が75%(四三酸化鉛約70%)含まれております。

ネオリバー泥パック橋梁用 Type II は、塗料(塗膜)に含まれる樹脂などに作用し剥離効果を発揮するため、溶剤不溶成分が多量に含まれ樹脂などが少量の鉛丹錆止めペイントに対して、反応しづらく(反応する部分が少なく)、剥離が困難です。

なお、シアナミド鉛錆止めペイント(JIS K 5625:廃止)は溶剤不溶成分であるシアナミド鉛の含有量が10%程度で、樹脂などとの構成比が鉛丹錆止めペイントと逆転しており、剥離剤が作用する樹脂などが多く存在するため剥離が可能となります。

		JIS K 5622	JIS K 5625
		鉛丹錆止めペイント	シアナミド鉛錆止めペイント
塗膜	溶剤不溶分	70~75%	45~55%
成分	樹脂など	30~25%	55~45%
剥離剤の効果		効きにくい	比較的効きやすい

* 経年劣化により溶剤可溶成分(樹脂など)が減少すると、古い塗膜はより剥離が困難になります。

* 剥離作業時の温度により、溶剤可溶成分(樹脂など)への反応効果が変わります。低温時は反応しづらくなるため、剥離作用も低下します。

以上